

新規事業採択時評価

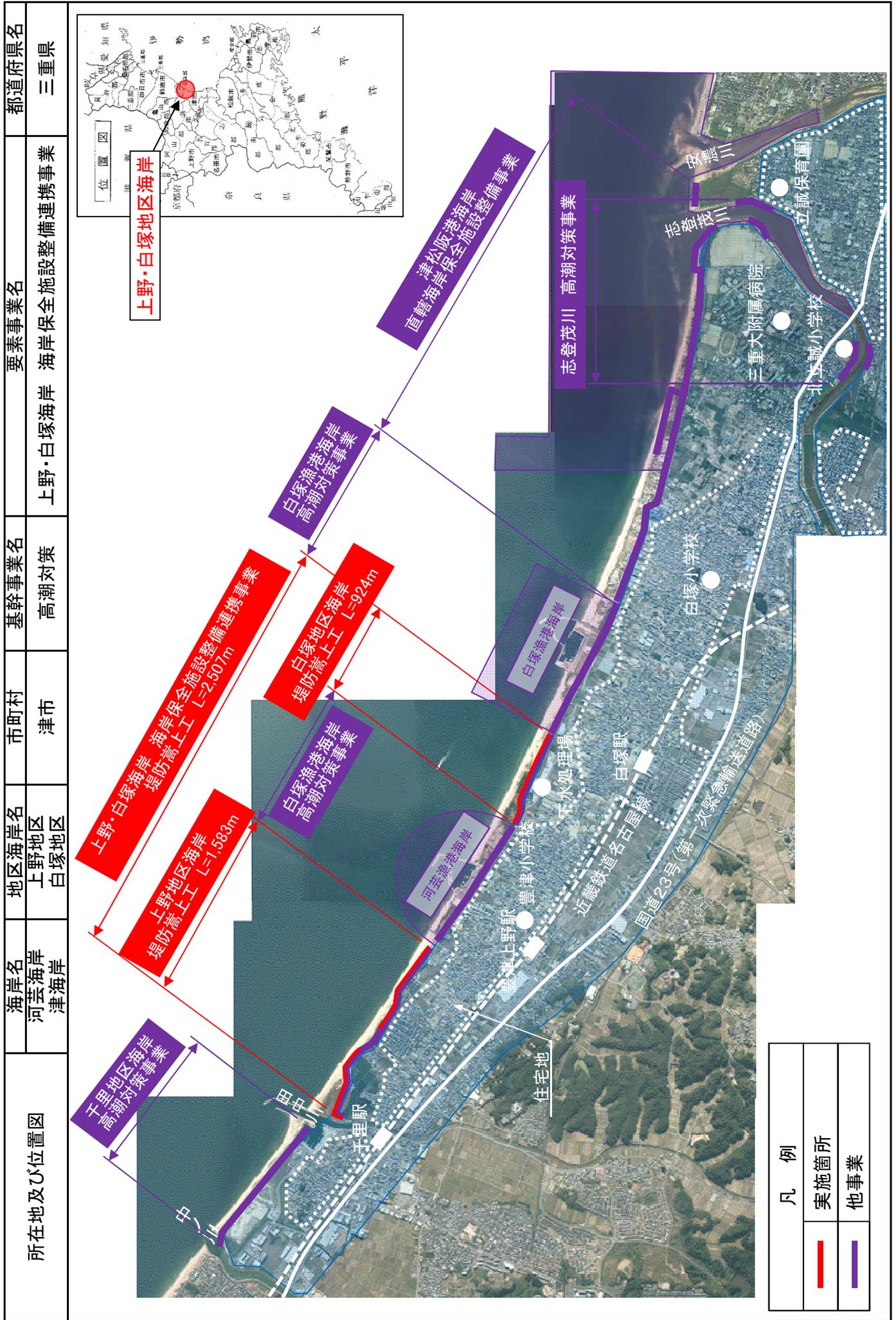
(補助事業)

【海岸事業】

- 上野・白塚海岸 海岸保全施設整備連携事業 1
- 柳川海岸 海岸保全施設整備連携事業 3

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	上野・白塚海岸 海岸保全施設整備連携事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局 海岸室 室長 齋藤 博之	事業 主体	三重県																	
実施箇所	三重県 津市 上野～白塚																					
主な事業 の諸元	堤防の改築(堤防の嵩上げ)																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成36年度																		
総事業費 (億円)	12.1																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景> 上野・白塚地区海岸は背後地に津市の密集した住宅地が広がり、近畿日本鉄道名古屋線や第一次緊急輸送道路である国道23号などが併走しているが、既設堤防高は計画規模の高潮・高波に必要な高さに対して不足している状況であり、既往最大クラスの偏差による高潮が発生した場合には市内が浸水し、家屋が浸水するなど甚大な被害が想定される。</p> <p><達成すべき目標> 上野・白塚地区海岸において、近接する海岸や河川の整備と連携して計画的・集中的に堤防嵩上げを行い、早期に背後地の浸水被害からの防護を図る。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:津波・高潮・侵食等による災害の防止・減災を推進する</p>																					
便益の主 な根拠	年平均浸水軽減戸数:252戸																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成31年度																				
	B:総便益 (億円)	30.1	C:総費用(億円)	11.5	B/C	2.6	B-C	18.6	EIRR (%)	11.1												
感度分析		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.36</td> <td>~ 2.94</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.57</td> <td>~ 2.67</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.36</td> <td>~ 2.88</td> </tr> </tbody> </table>										全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.36	~ 2.94	残工期(+10%~-10%)	2.57	~ 2.67	資産(-10%~+10%)	2.36	~ 2.88
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.36	~ 2.94																				
残工期(+10%~-10%)	2.57	~ 2.67																				
資産(-10%~+10%)	2.36	~ 2.88																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、海岸堤防背後の住宅密集地や事業所への高潮・高波による浸水被害を防ぐことができる。</p> <p>さらに、高潮・高波により地域の主な産業である多くの水産加工会社に浸水被害が生じ、これらの営業停止等による波及被害や第一次緊急輸送道路である国道23号及び近畿日本鉄道名古屋線に浸水被害が生じ、避難・救援・復旧活動に影響を及ぼすが、事業を実施することにより、被害を防止できる。</p> <p>なお、本事業とともに他地区海岸や河川の堤防等も一体的に整備を行う計画であり、津北部地域の一連区間の海岸・河川の背後地において、高潮・高波による浸水被害からの防護が図られる。</p>																					
その他	<学識経験者の意見・反映内容>平成31年2月に学識経験者に意見聴取を行い、事業計画及び費用対効果分析結果(B/C)について妥当性を確認した。																					



凡例
— 実施箇所
— 他事業

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	柳川海岸 海岸保全施設整備連携事業		担当課	水管理・国土保全局 海岸室		事業 主体	福岡県			
			担当課長(室長)名	室長 齋藤 博之						
実施箇所	福岡県柳川市吉富町～橋本町									
主な事業 の諸元	堤防の高上げ									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成36年度						
総事業費 (億円)	185									
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景> 柳川海岸は、有明海沿岸に位置する海岸で、背後地は広大なゼロメートル地帯が広がり、多くの家屋や農地、学校などの公共施設、西日本鉄道天神大牟田線、第一次緊急輸送道路である国道208号などが存在しているが、計画規模の高潮・高波が発生した場合、既存の堤防の高さが低いことから、高潮による越波・越水等により広範囲に浸水被害が発生する恐れがある。</p> <p><達成すべき目標> ・柳川海岸において、隣接する河川の整備と連携して計画的・集中的に堤防高上げ等を行い、早期に背後地の浸水被害からの防護を図る。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:津波・高潮・侵食等による災害の防止・減災を推進する</p>									
便益の主 な根拠	<p>・年平均浸水軽減世帯数: 6,446 世帯 ・年平均浸水軽減面積 : 1,632 ha</p>									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度								
	B:総便益 (億円)	9,853	C:総費用(億円)	462	B/C	21.3	B-C	9,391	EIRR (%)	42
感度分析	柳川海岸はB/Cが20を超えており、今後、社会経済状況の変動による将来の不確実性を踏まえても事業の有効性に問題は無いため、算出の必要は無い									
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 高潮による浸水被害が想定される浸水面積が1,632haから0haに、家屋数は6,446世帯から0世帯に解消される。</p> <p>② 西日本鉄道天神大牟田線、第一次緊急輸送道路である国道208号の浸水が解消される。</p> <p>なお、本事業とともに河川の堤防等も一体的に整備を行う計画であり、沖端川から柳川海岸を含めて塩塚川までの一連区間の背後地において、高潮・高波による浸水被害からの防護が図られる。</p>									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成30年度福岡県県土整備部・建築都市部公共事業再評価検討委員会において、『継続実施』の意見をいただいた									

所在地及び位置図		海岸名	柳川海岸
地区海岸名	明治長栄橋本開地区	市町村	柳川市
基幹事業名	高潮対策	要素事業名	柳川海岸 海岸保全施設整備連携事業
都道府県名	福岡県		

